

春日部駅西口の
放置自転車対策と
駐輪場について



栄 康次郎 議員

春日部駅周辺の放置自転車は、東口ではだいぶ改善されましたが、西口にはまだまだ放置されております。そこで、西口周辺の放置自転車の現状とその対策についてお尋ねをします。また、誘導員による誘導や広報をする際の案内の印刷物では、市営の駐輪場だけでなく、民間の駐輪場も案内できないでしょうか。

一方、民間の駐輪料金については、西口では市営の料金に合わせざるを得なく、東口よりも低い料金に下げなければ来てもらえない状況です。さらに、無料開放の市営駐輪場は民業を圧迫しているといえます。これは閉鎖をしても民間で十分まかなえるので、地場産業の育成という観点も踏まえ市長の考えを伺います。

○市民部長
放置自転車は西口ロータリーの銀行周辺が最も多くなっています。対策としては誘導



放置自転車

整理、撤去、啓発活動、自転車駐車場の設置の4つの施策を実施しています。また、市営及び民間の自転車駐車場の位置情報などを地図に掲載し、市民に提供することは、放置自転車対策として効果的であるので、民間のご協力が得られれば実施したいと考えます。

○市長
民間の自転車駐車場とは補い合い、連携を図りながら放置自転車対策を推進してまいります。また、料金体系や地域産業の育成については、鉄道高架事業などのまちづくりにあわせて検討します。

納税は、憲法で定められている国民の義務です。その義務を怠るのは、課税の仕方が悪くて滞納されているのか、その辺をよく検討し、まじめに納税される方がばかを見ないよう、滞納をなくしたいですが、市の考えを伺います。

○財務担当部長
賦課は、法に沿って行っています。徴収は、平成20年度は、休日臨宅を中心とした市税等収納率向上特別対策を行い、ボーナス支給月の休日臨宅の強化等、さらなる収納率、

行財政改革推進の中で
市税等の滞納について



小島 文男 議員

今厳しい行財政改革の中で、私たちのまちには1200億円の借金があり、国保税と市税を合わせて80億円近い滞納金があります。

滞納金をいろいろな形で整理していますが、まじめに納税する一般市民の方が聞いたら、正直者がばかを見ると感じると思います。

納税は、憲法で定められている国民の義務です。その義務を怠るのは、課税の仕方が悪くて滞納されているのか、その辺をよく検討し、まじめに納税される方がばかを見ないよう、滞納をなくしたいですが、市の考えを伺います。

○財務担当部長
賦課は、法に沿って行っています。徴収は、平成20年度は、休日臨宅を中心とした市税等収納率向上特別対策を行い、ボーナス支給月の休日臨宅の強化等、さらなる収納率、

収納額の確保を図っていきま

また、不誠実な滞納者に対しては差し押さえの手続を行い、積極的に滞納処分を実施することにより、市税等の債権確保を図り、収納率の向上と滞納繰越額の圧縮に努めた

いと考えています。

税は市にとって重要な財源と認識していますので、収納率の向上に最大限努力します。

このほか

○東中学校用地取得の経過と取得契約の件

○土地の有効活用と担税力について

上野長宮線の
延伸計画の推進について

山口 保 議員

上野長宮線は、昭和41年度に旧岩槻市で都市計画決定された、総延長4110メートルの都市計画道路です。

現在、南平野土地区画整理事業が行われており、まもなく終えんを迎えます。また、区画整理とともに本市の増戸地区に隣接する道路が完成し

ようとしており、この道路が完成すると、増戸地区の交通量が増加すると考えられます。そのため、国道16号線までの延伸計画を推進すべきと考えますが、これまでの経過、及び今後の計画を伺います。

○建設部長
本路線は、平成5年度から8年度にかけて、埼玉県が事業主体として事業の推進を図った経緯があります。県事業として進めていたため、本市として地権者の方々への対応等は行っておりません。

今後は、さいたま市の都市計画道路であり、また、これまで県事業として進めてきた経緯もあるため、優先整備できるといえるように、機会あるごとに要望してまいります。

○市長
重要な幹線道路であることは十分認識しています。関係機関に対して強く要望します。

このほか

○市道2-11号線の道路拡幅歩道整備について

○南中曽根の県道さいたま春日部線の市道2-30号線と4-650号線交差点への定周期式信号機の設置について

○下蛭田の病院前に押しボタ

耐震対策について



卯月 武彦 議員

学校の耐震化率は34・6%で、3棟に2棟は大地震の際に被害が生じることになりま
す。2015年度までに耐震補強を100%終わらせる計画ですが、国の補助率が、3年間に限り3分の2に引き上げられますので、少ない費用で早急に耐震化を進めるとい
う上では、今回の国の補助金の増額、これを大いに利用す
べきだと思えます。計画を変
更し前倒しするべきだと思
いますが、考えを伺います。
また、個人住宅の耐震補強
工事に当たって、市が補助金
を出す制度を提案してしま
したけれども、その後の助成制
度について、どう検討したの
か伺います。

○学校教育部長

一連の作業を国庫補助の政
策に合わせていくというこ
とで、今現在計画をしている施
工計画について、国の施策、
計画をどのように反映できる

か、検討していきたいと考
えています。

○都市整備部長

市としても、耐震診断及び
耐震改修事業費などに対する
助成制度が民間建築物の耐震
化を進めるためには必要であ
ると考えます。個人住宅やマ
ンションなどの耐震診断や耐
震改修の助成制度について、
他市の助成制度などを研究し
ながら、今年度策定予定の耐
震改修促進計画とあわせて創
設したいと考えています。

このほか

○旧公団住宅（UR賃貸住
宅）について



赤帽やレンタル業者と協定を 結び災害時の対策強化を



栗原 信司 議員

市内に限らず、市町村を越
えた枠の災害協定の締結、見
直しが急務と思います。そこ
で、国や県、他市、民間との
連携について、災害協定の締
結の現状をお伺いします。

特に、赤帽などの輸送業者、
レンタル業者やコンビニなど、
営業範囲を広範囲に持つ業者
との災害時の協定に関する市
の取り組みをお伺いします。

○秘書広報防災担当部長

災害発生時の初期の避難生
活等に対応するため、食料、
飲料水、毛布や防災資機材な
どを備蓄していますが、災害
時にはこれらの備蓄量が十分
ではありません。そのため、
この不足分を補うために、他
の自治体や民間事業者と、災
害応援協定を締結しています。
市としては、民間業者との
災害協定は、災害時の応援対
策活動に関する援助だけでなく、
賞味期限のある食料など
にかかる管理コストの抑制が

図れるという利点もあります。
今後については、軽自動車
での輸送業者である赤帽をは
じめ、レンタル業者、コンビニ
二業者などと、積極的に災害
協定の締結に向けて取り組み、
災害対策の強化を図ってい
たいと考えています。

このほか

○豊町の公有空き地の有効活
用について
○市営住宅の支払いをコンビ
ニなど選択制に
○総合支所、庄和総合公園を
文化・芸術などの中心拠点に
○予約制乗合タクシー制度の
導入について

今後の国民健康保険 特別会計の運営について



阿部真理子 議員

平成19年度国保特別会計は、
4億3200万円の歳入不足
となり、5月補正で20年度歳
入から繰り上げ充用して対応
しました。そのことに対して、
税率改正や一般会計からの繰
り入れ等、国、県からの指導
が入りますか。また、通常は
3年間の会計ベースの中で税

率が決められています。今後
3年間は国保の税率改正はな
いと考えますが、いかがでし
ようか。最大限歳入確保に努
め、なお収支不足が生じた場
合、一般会計から補てんする
と考えていいですね。

○健康保険担当部長

県に確認しましたが、繰り
上げ充用を行ったことに対す
るペナルティーはありません。
また、今年度は後期高齢者
医療制度創設など大幅な医療
制度の改正があり、現時点で
今後の見通しを予測し、21年
度の税率改正の可能性を検証
することは大変難しい状況で
す。これらの動向を綿密に精
査しながら、極力税率改正を
行わないよう、国保財政の健
全化に努めていきます。

○市長

国保特別会計への繰り出し
は国保税の確保等最大限努力
し、なお補てんできない収支
不足が生じた場合、市全体の
財政運営の中で国保特別会計
の運営に支障が生じないよう、
できる限り対応していきます。

このほか

○庄和総合支所庁舎有効活用
について
○行政通信物、印刷物等を読
みやすい大きな字に

後期高齢者医療制度は「年齢による命の差別」そのものなのだ!



梶子 晃子 議員

後期高齢者医療制度の中身が分かるに従って、国民の怒りが広がり、全国では580を超す地方議会でも反対決議が上がり、廃止を求める署名は600万を超え、全国47都道府県の医師会中、30を超える医師会が異議を唱えています。そして、ついに政府与党も保険料の軽減など一部見直しを言わざるを得なくなりました。情勢は大きく変化しています。市長は現在、後期高齢者医療制度について、どのように考えているのか。特に、75歳以上という年齢で高齢者を切り離し、これまでの健康保険から強制的に外すやり方は「年齢による命の差別」そのものであり、「法の下の平等」に反すると私は考えますが、いかがお考えですか。

また、①収入のない人に保険料の減免を、②健康診査800円の自己負担への助成、③国保加入者を実施している

指定保養所の利用助成を後期高齢者にも助成を、以上3点についても、ご提案します。

○市長

後期高齢者医療制度は、国民皆保険制度の中の1つの制度であり、法の下の平等には反しておらず、差別的な医療制度でもないと考えています。しかし、多くの議論がある中で、現在、国において新たな見直しを検討しているため、その動向を注視していきます。

このほか
○春日部市庄和総合支所庁舎有効活用基本計画書について
○国保税の減免について

人間ドックの助成復活を



村松 君子 議員

これまで市は、35歳以上の住民に対して一部自己負担はあるものの公費での健診を行ってきました。4月から、後期高齢者医療制度の実施に伴って、国保の人間ドックも廃止になりました。県内40市のうち、32市が引き続き人間ドックへの助成を行い実施する

春日部市立病院について



滝澤 英明 議員

市立病院は、地域医療の拠点病院として、市民の方々が安心して適切な医療を受けられる病院でなければなりません。しかも、子育て日本一を目指す本市としては、小児科、産科は欠くことのできない診療科です。しかし、昨年9月から小児科医師の離職により、小児科の休診とともに、産科も休診となってしまいました。その後、平日昼間の小児科外来診療が再開されましたが、まだまだ市民の方々が安心して産み育てられる環境にはなっていません。小児科の入院診療や産科が再開されることに必要だと考えますが、再開に向け、どのような努力をしているのか伺います。

また、10月1日から地方公営企業法の全部適用に移行すると聞いていますが、事業管理者への権限委譲、及び市立病院の今後について伺います。

○市長

このほか
○高齢者施設バスは毎日運行を
○コミュニティバスは日曜日も含め毎日運行を

小児科入院、産科を再開するために、関連大学や連携する大病院に働きかけを行い、病院長と一体となって、引き続き医師の確保に努めます。事業管理者へは、法で定める組織、人事、財務等の権能を全面的に委譲する考えです。今後は、事業管理者とよく相談しながら、地域中核病院としてなすべき機能を十分考えてまいります。また、設置者として、市立病院の再建充実、再整備の適切な道筋が確立されるよう努力します。

このほか

○災害時医療体制について



リニアック (市立病院)

子宮頸がん 予防について



五十嵐みどり
議員

最近日本の若い女性の間で急速に広まり、死亡率が上昇しているのが子宮頸がんです。この病気の死亡率が高いのは、検診を受ける女性が圧倒的に少ないからです。早期発見し治療すれば完治することを知らない人が、6割程度いることも、検診率が上がらない原因になっていると思います。

本市における平成19年度の検診率は10・4%で、検診は毎年行われているということですが、現在の検診方法には、細胞診とHPV（ヒトパピローマウイルス）検査があり、併用すればほぼ100%発見できるとされ、HPV検査は自宅で自己採取する郵送検査もあります。このような情報はあまり知られていません。そこで、子宮頸がんに関する正しい情報の普及と検診率の向上対策で、女性の命を守る施策を推進していただきます。市の考えをお伺いします。

健康保険担当部長

本市における子宮がん検診は、国の指針に基づき、細胞診を実施しています。HPV検査を導入した検診は、国等の動向を注視してまいります。

また、広報紙やホームページなどで子宮頸がんの正しい情報の普及啓発を図るとともに、イベントにおいて受診の呼びかけを行うなど検診率の向上に努めてまいります。

このほか

○春日部市の「環境基本計画」の施策について
○使用済み携帯電話の回収について

春日部市の現状について 市長に問う



渡田 智秀
議員

埼玉県の道路、鉄道は、非常に整備されていると思います。道路は、縦に国道17号、東北道、関越道、横に南から外環道、圏央道、鉄道は縦にJR線、東に東武伊勢崎線、西に東武東上線、八高線、横に南から武蔵野線、野田線、川越線、秩父鉄道があります。

真ん中にさいたま市を挟んで、西に川越市、東に春日部市があります。埼玉県東部地域の中心都市が春日部市だと思いますが、市長はどう思いますか。

次に、石川市政1期4年の半分が経過しました。私は、2期5年を振り返って自分に厳しく評価して70点と言いたところだが、1点減点して69点としました。

市長は、1期半分を100点満点で何点つけられますか。（再登壇して）市民の皆さんに判断していただくと同時に、自己評価も首長としてしっかりとすべきでは。

市長

埼玉県東部地域の中心都市は春日部市と思います。点数については、まだ2年しかたっていないです。自分で点数をつけるのではなく、1期4年終了したときに、市民の皆さんに判断していただくものだと思います。

このほか

○武里団地の今後について
○庄和夏祭りについて
○大場大枝線について
○鉄道高架について

鉄道高架事業を基軸とした 魅力ある中心市街地創造について



岩谷 一弘
議員

表題につきまして、以下質問いたします。

- ①春日部駅付近連続立体交差事業について
- ②まちの活性化・都市デザイン競技について
- ③粕壁三丁目A街区市街地再開発事業について

鉄道高架担当部長

本事業は都市交通の円滑化ばかりでなく、着工準備採択時に試算した費用対効果で約2・0と算出されているように、まちづくり、都市の発展に大きな効果が期待でき、中心市街地活性化に寄与する極めて重要な事業です。

また、春日部駅西口エントランス整備として雨よけを12月の完成、中央第4公園の常設ステージ設置は、11月上旬の完成を目指します。

副市長

当該競技については44チームの提案があり、駅周辺中心市街地のランドデザイン作

成に大いに参考となるものが多数ありました。

春日部市長特別賞を受賞した作品などを基として、作成に当たっていきいたいと思います。

市長

粕壁三丁目A街区市街地再開発事業は、保育所、子育て支援センター、都市型児童センターと民間施設を併設整備することから、まちのにぎわいを創出する、新たな拠点となるように期待しています。

このほか

○障害者計画の基本理念と施策について



ユリノキ通りの延伸



阿部 喜一
議員

ゆりのき橋が開通して3年、現在ユリノキ通りは建築ラッシュで大変な活気がみながっています。現在県道は変形丁

字路で開通し、さらに庄和地域の米島まで延伸が約束されています。平成17年12月定例会でユリノキ通り延伸の時期についてお尋ねしましたが、合併特例債期限の平成27年度までに完成ということでした。平成18年12月定例会では、藤塚米島線は現在測量中との答弁で、平成22年度完成ということですが、予定通りの軌道に乗っているのか、現在の進捗状況をお尋ねします。

また、中川の手前、春日部寄りの橋の下に、地元からトンネルの要望が出ていますが、ぜひ実現していただきたい。

建設部長

藤塚米島線は平成19年1月に都市計画決定した後、事業用地の確保に努め、平成19年度末の用地取得率は約17%と



ユリノキ通り

なりました。まちづくり交付金と合併特例債を活用して事業を推進しており、まちづくり交付金事業期間の最終年度である平成22年度完成を目指して鋭意努力してまいります。

- 南北横断トンネルは埼玉県総合治水事務所と協議し、普通自動車が対面通行できる構造で計画しています。早期完成に向け事業推進に努めます。
- このほか
- 銚子口橋架橋その後
- 文化村道路側溝事業
- テニスコートその後
- トイレの新設について
- 図書館行政の方向性

武里団地の今後について



片山いく子
議員

武里団地は、総合振興計画の中で、「まちなか居住ゾーン」として位置づけられた武里地域にあり、約5300戸、1万1000人の住む、集約化された住宅地です。耐震補強が困難とされる棟が取り壊されたあとについては、建て替えも含め、市が都市再生機構と積極的に協議すべきです。

特に、団地は高齢化が進んでおり、高齢者の住宅政策としても、市が取り組むべきと考えます。

都市再生機構は、高齢者や障害者などの住宅を確保するため、国から補助を受けている独立法人です。団地の建て替え時に、高齢者の施設を整備するための、国からの補助金も検討できるはずですが、また、都市再生法には、老朽化した住宅地については、自治体の要請を受けて都市再生機構が整備する場合、補助事業となる、とあります。

このような国の政策も検討し、市は都市再生機構と積極的に協議していただきたい。

総合政策部長

武里団地は、駅から徒歩で5〜10分という恵まれた立地条件にあります。現在の緑豊かな住環境を維持しながら、多様な世代が安心して暮らせるコミュニティの実現について、地域の方々や都市再生機構と十分協議していきたいと思っています。

このほか

- 庄和総合支所の有効活用について
- 学校施設の耐震化について

陳情

第1号

在宅の中途障がい者への紙オムツ支給に関する陳情

今定例会の日程

5月30日

開会、特別委員会の終結、正・副議長選挙、議案第43号から議案第58号までの上程・説明、議案第59号の上程・説明・質疑・討論・採決

6月3日

議案第43号から議案第58号までに対する質疑
6月5日
常任委員会

6月9・10日
一般質問

6月11日
議案第1号の訂正、総務委員会

6月12・16・17日
一般質問

6月19日
常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、特別委員会の設置、閉会

閉会中の委員会活動

▽市立病院健全経営検討特別委員会

4月14日

・特別委員会報告書(案)について

▽総務委員会

5月23日
・議案第1号「市民参加推進条例の制定について」

▽議会運営委員会

5月26日
・平成20年6月定例会運営について

当市への視察状況（平成19年度）

来庁日	来庁議会	視察内容
5月24日	むつ市議会（青森県）	浄水場の浄水発生土販売等について
6月21日	高砂市議会（兵庫県）	市立病院の経営健全化について
10月18日	多摩市議会（東京都）	小学校跡地利用について
10月23日	寝屋川市議会（大阪府）	新市建設計画について 中心市街地活性化について
10月23日	大竹市議会（広島県）	旧谷中小学校跡地利用について
11月13日	安城市議会（愛知県）	土地利用計画について
11月20日	宇治市議会（京都府）	道の駅「庄和」について
11月22日	三豊市議会（香川県）	入札制度の改革について
1月24日	八尾市議会（大阪府）	旧谷中小学校跡地利用について
2月1日	久留米市議会（福岡県）	行財政改革について
2月5日	人間市議会（埼玉県）	市議会ホームページの運用・活用について 議会だよりの編集・発行について
2月13日	八王子市議会（東京都）	学校の統廃合について 谷中小学校の跡地利用について
3月27日	呉市議会（広島県）	ごみ収集業務の民間委託について

次の定例会は 8月25日（月） 開会予定です

▽議会だより編集委員会
6月23日
・議会だより第12号の発行につ
ついて
7月4日
・議会だより第12号の発行につ
ついて

市議会会議録を閲覧できます

市議会では、本会議の会議録を一般公開しています。会議録を閲覧することで、市議会でのどのような審議が行われたのかを知ることができます。公開場所は次のとおりです。

○市政情報室（本庁舎別館1階、庄和総合支所1階）

- 中央図書館
- 正風館
- 各公民館（平成20年3月定例会以降分）

また、市議会のホームページでも会議録を閲覧できます。ホームページで閲覧できるのは、合併後（平成17年10月臨時会以降）の会議録です。

なお、会議録は、本会議終了後、約2カ月で完成します。

春日部市議会
ホームページアドレス
<http://www.kasukabe-shigikai.jp>

今定例会傍聴状況

合計	19	17	16	12	11	10	9	6/3	5/30	月日	傍聴者数	主な日程
203	7	53	33	42	4	27	33	2	2			上程・説明 質疑 疑
												討論・採決 一般質問 一般質問 一般質問 議案第1号の訂正 一般質問 一般質問 一般質問 質疑

傍聴して一言

食料問題も洞爺湖サミットで話題の事柄。時代が変わって子どもたちの家庭環境もいろいろだと思いますが、未来の子どもたちのためにも、学校給食のことは大切に取り扱ってほしいと思います。

女性66歳

質問と答弁の言葉が分かりにくい。言葉は相手に分かりやすく伝えていただきたい。

女性72歳

同じ質問が多いので、1人1問題の質問にして、掘り下げた答弁を期待します。

女性65歳

一般質問にしては少し重要なポイントがズレてしまっているのでは。「オラが村」も重要かもしれませんが、もっとグローバルな視点に立った一般質問を期待します。もう少し論点を整理した発言をしていただきたい。時は金なり。

女性50歳

※割愛させていただいた部分もあります。

編集後記

6月定例会におきまして、正・副議長、常任委員会等の議会人事に変更がありました。議会だより編集委員会も新たなメンバーで議会の活動と市政の動きを伝えてまいりたいと思っております。

市民の皆様が、議会だよりをより身近に感じられるよう、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしく願います。

議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 滝澤 英明
- 委員 片山 いく子
- 委員 石川 勝也
- 委員 阿部 喜一
- 委員 栗原 信司
- 委員 大山 利夫
- オブザーバー 小久保博史
- 議長 川鍋 秀雄
- 副議長 川鍋 秀雄

〒344-8577

埼玉県春日部市中央6丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116